

感染症 ひとくち情報

呼吸器感染症に注意しましょう!



2020年1月10日

東京都健康安全研究センター

1. 呼吸器感染症に注意しましょう

インフルエンザをはじめとする呼吸器感染症の多くは、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる病原体によって感染（飛沫感染）する場合や病原体が付着した手で口や鼻に触れることによって感染（接触感染）すると考えられています。

現在、中華人民共和国湖北省武漢市で新型コロナウイルスが原因の可能性のある肺炎が発生しています。また都内でもインフルエンザが流行しており、普段の生活や海外渡航時などにおいて、感染予防に一層の注意が必要です。

2. 予防のポイント

予防には流水と石鹸を使い丁寧に手を洗い、手洗後は清潔なタオルやペーパータオルで水分をふき取り、手の清潔を保ちましょう。

また、咳やくしゃみをするときは、周りへの感染を防止するため、ティッシュなどで口と鼻を覆いましょう。使用したティッシュはウイルスなどの病原体が付着しているため、すぐにゴミ箱へ捨て、その後十分な手洗いをしましょう。



3. 海外渡航時には動物・鳥に注意しましょう

動物は様々な病原体を持っている可能性があることから、ペットとして飼育されている場合でも、海外では動物にむやみに触れるのはやめましょう。また、動物に咬まれないことや糞尿に触れたりしないように注意し、誤って触れた場合は、流水と石鹸で十分に手を洗いましょう。

また、農家や市場への不要不急の訪問は避けましょう。特に、野生動物を扱う市場は避け、動物の死体に近づかないことが大切です。

4. 症状が出現した場合には

発熱や咳、くしゃみなどの呼吸器症状がある場合には、サージカルマスクを着用し医療機関を早めに受診しましょう。

また、発熱や咳等の呼吸器症状に加え、発疹等の症状がある場合には他の感染性の高い病気も考えられることから、受診の際には、事前に医療機関へ電話連絡をした上で、早めに受診しましょう。

受診の際に、海外への渡航歴がある場合には、そのことを医療機関に伝えるようにしましょう。

